


田上町

これからの まちづくり

2022～2031

総合計画とは？

これからの田上町の将来像や、それを実現するために町がどう取り組んでいくのかをまとめた、「総合的なまちづくりの指針」として策定する田上町における最上位計画です。



第6次田上町総合計画

基本構想 令和4年度～令和13年度
前期基本計画 令和4年度～令和 8年度

まちづくりの理念

第6次総合計画では誰もがずっと住み続けたい田上町になるように、「誰もが安心して暮らせる」、「安心して子育てできる」、そして「自然豊かで活力ある」という3つの視点で町を発展させ、住民の暮らしを豊かにするために、みんなで力を合わせ、みんなとまちづくりを進めます。

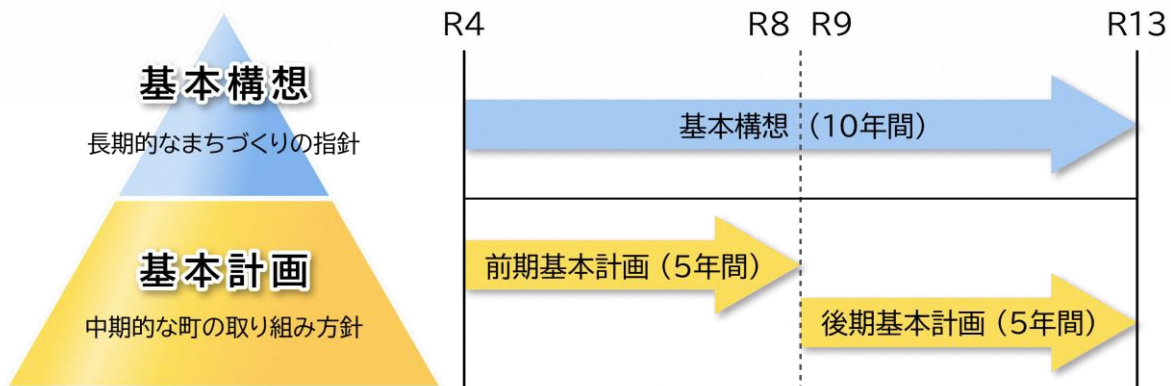
あなたの**願い**がまちをつくり、
あなたの**想い**がまちを変える。

まちづくりのテーマ

田上町に住むすべての方の笑顔があふれる町にするため、町民のみなさまが「夢」や「希望」を自由に追い求めることができる環境をつくりまします。

このまちに住む
みんなの笑顔のために

計画の構成イメージと計画期間



具体的な事業は、それぞれ個別の計画に示されます。

基本構想

計画期間：令和4年度～13年度（10年間）

長期的な展望に立ち、まちづくりの理念やテーマ、まちの将来像を示し、それらを実現するための施策の方向性を示します。

基本計画

計画期間：前期 令和4年度～8年度（5年間）

後期 令和9年度～13年度（5年間）

基本構想の実現に向け、まちづくりを進めていくための分野別の取り組みを示します。また、時代とともに変化する社会情勢に対応するため、前期と後期に区分して策定します。

基本計画の事業のうち、特に重要なものを「重点プロジェクト」として位置付け、優先的に取り組んでいきます。

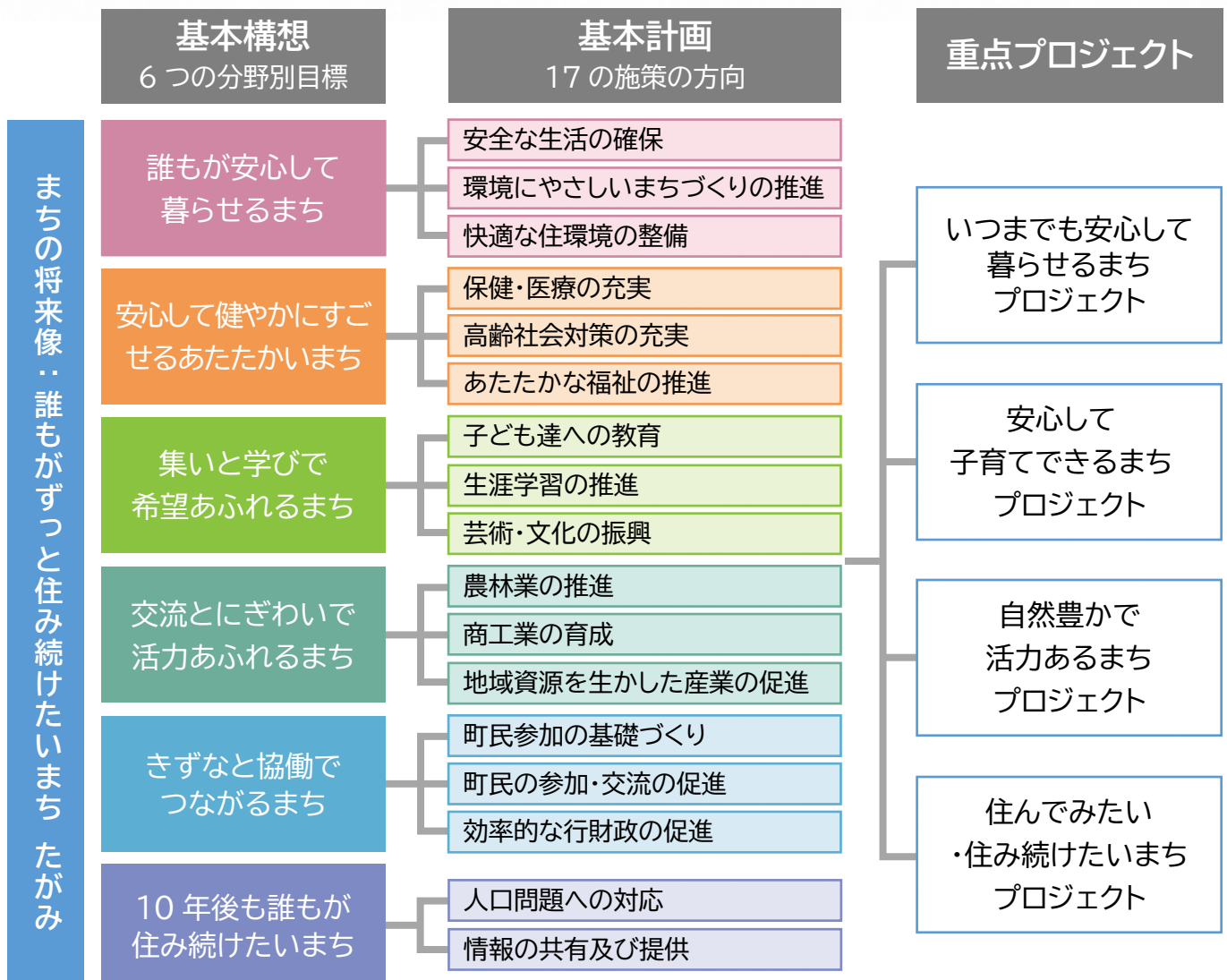
まちの将来像

誰もがずっと住み続けたいまち たがみ

田上町で生まれ育った若い世代がこれからも住み続けたいと思い、みんなで子どもたちを守り、育て、高齢者がいつまでも元気で活躍できる。そして、田上町に住むすべての方の笑顔があふれる町を目指します。

総合計画の体系と施策

まちの将来像「誰もがずっと住み続けたいまち たがみ」を実現するために、6つの分野別目標を柱とし、具体的な手段として17の施策の方向を基本計画として定めています。



第6次総合計画 前期基本計画の事業

まちの将来像「誰もがずっと住み続けたいまち たがみ」を実現するために、分野別目標ごとにどのようなまちづくりを進めるのかの説明と、主な事業内容をいくつかお知らせします。

分野別目標：誰もが安心して暮らせるまち

自然災害への対応や自然環境の保全、快適な住環境の整備を行うことで、誰もがずっと安心して暮らせるまちを目指します。

安全な生活の確保



地区の自主防災組織を中心とした防災対策、消防・救急体制の更なる充実、水害のないまちを目指すとともに、降雪期は除雪による安全安心な生活の確保を行います。

環境にやさしいまちづくりの推進



快適な生活環境の確保のため、ごみの減量化・再資源化の推進、下水道・合併処理浄化槽の設置の推進を行います。また、協働による環境保全活動の推進に努めます。

快適な住環境の整備



安全な道路や水道の維持管理、空き家・空き地の情報提供や、公共交通の維持・充実などを行います。また、地区と協力して地区公園の維持に努めます。

主な事業

■ デマンド交通の実施【拡充】

より使いやすいように、加茂市の医療機関を乗降場所に追加しています。さらに、利用料金の値下げ（片道1人600円→300円など）等の見直しを行います。

■ 清掃センターの改修・新築の検討

経年劣化が進むごみ焼却施設について、延命化を図るとともに施設の今後を検討します。

■ 生ごみ処理機等の購入補助【継続】

ご家庭のごみ減量化につながるように、生ごみ処理機等の購入に補助金を交付します。

■ 暮らし応援リフォーム補助【新規】

田上町にずっと住み続けたいと思っていただけるように、住みよい暮らしを応援します。上限15万円で住宅リフォームの費用を補助します。

分野別目標：安心して健やかにすごせるあたたかいまち

保健・福祉・医療の充実により、少子高齢化社会においても、誰もが生きがいを持ち健やかにすごせるあたたかいまちを目指します。

保健・医療の充実



「自分で守ろう ころろとからだ」をスローガンに、健康づくりへの意識を高めます。また、主体的な健康づくりのサポートなどを行います。

高齢社会対策の充実



高齢の方が、できるだけ住み慣れた地域で生き生きと自立した生活を送れるよう、また、必要とする支援を受けられるよう、関係機関が連携して取り組んでいきます。

あたたかな福祉の推進

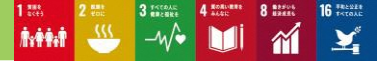


互いに協力し、支え合う仕組みを構築し、障がいの有無などに関わらず安心して地域で暮らせるようにします。また、すべての子どもが健やかに育つよう、子育て環境の充実を図ります。

分野別目標：集いと学びで希望あふれるまち

次代の田上町を担う子どもたちの教育や町民の生涯学習の充実を図り、誰もが集い学べる希望あふれるまちを目指します。

子ども達への教育



「田上の12か年教育」を推進し、園・学校・地域・家庭が連携して更なる教育環境の充実を図っていきます。また、郷土愛を育むために地域活動や交流の機会を増やします。

生涯学習の推進



田上町交流会館等を活用した学習機会の提供のほか、自主的な学びへの支援、スポーツに触れ合う機会の提供などを行います。また、町全体のスポーツ施設についてあり方を検討します。

芸術・文化の振興



田上町交流会館等を活用し、自主的なサークル活動への支援や、美術や音楽をはじめとした様々な文化に親しむ機会を提供します。また、文化財・伝統芸能の保存と次世代への継承に努めます。

主な事業

■田上の12か年教育の推進【継続】

基本理念の「田上の子は田上で育てる」に基づき、「認めて褒めて育てる教育」により、自信を高め「自分の考えを持ち、つたえる」子どもを育みます。

■子どもの遊び場の提供【新規】

交流会館等の既存施設を活用し、天候に左右されない子どもの遊び場を提供します。

分野別目標：交流とにぎわいで活力あふれるまち

町の基幹産業である農業をはじめ、各産業の振興を図るとともに、地域資源を活用した交流促進により、にぎわいと活力あふれるまちを目指します。

農林業の推進



農家数の減少や高齢化が進んでいるため、農業所得の向上や、新規就農者への支援等を進め、安心して作物作りが継続できる環境の整備に努めます。

商工業の育成



商業の活性化、事業所の事業継続と人材育成に努めます。また、雇用の場の確保のために、本田上工業団地への企業誘致や、既存企業の経営基盤の安定を図るとともに、起業支援等も行います。

地域資源を生かした産業の促進



観光業、農業、商工業が連携して、「道の駅たがみ」を中心としてにぎわいが町内に循環するような仕掛けづくりやPRなどを行います。また、町の魅力に磨きをかけ、ブランド力の向上を図ります。

主な事業

■起業創業支援事業【新規】

これから町で新しく事業を始めたい方を支援します。上限50万円で、空き家・空き店舗をリフォームして使用する場合はさらに上限50万円の支援をします。

■担い手の育成【継続】

国、県の施策に関する情報提供、農業用機械・施設園芸導入に対する支援や、新規就農者の確保、育成を行っていきます。

分野別目標：きずなと協働でつながるまち

行財政の健全化を図るとともに、全ての町民が支え合いながらまちづくりに参加できる、きずなでつながる協働のまちを目指します。

町民参加の基礎づくり



個人の人権が尊重される明るく住みよいまちづくりの実現のため、人権教育・啓発の推進を図ります。

町民の参加・交流の促進



住み続けたいまちを目指して町民と目的を共有し、一緒に力を合わせてまちづくりを進めていきます。

効率的な行財政の推進



町民サービスの向上に努めるとともに、健全な財政運営の推進、人口減少社会を見据えて関係市町村との連携を進めます。

分野別目標：10年後も誰もが住み続けたいまち

人口減少を抑制するため町民の生活利便の確保と町の活力の維持に努め、将来も住み続けたいと思えるまちを目指します。

人口問題への対応



人口減少社会の中でも、私たちの日常の暮らしの質や経済、産業活動を維持していけるように、少しでも人口減少を抑えていきます。

情報の共有及び提供



様々な情報発信手段を使い、より届きやすい、わかりやすい広報を行います。また、町民の声を聞き、ともにまちづくりを進めていくことを目指します。

主な事業

■総合戦略の実施【拡充】

人口減少対策である「総合戦略」の事業を進めます。
※「総合戦略」について詳しい説明は次ページをご覧ください。

■届きやすく、わかりやすい広報

広報紙きずな、防災無線やメール配信のほか、スマートフォンでも見やすいホームページ、SNS 等も活用した広報を進めます。



SDGs (エスディージーズ) とは

SDGsとは、「Sustainable Development Goals」(持続可能な開発目標)の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された国際的な目標です。誰一人取り残さない、持続可能でよりよい社会の実現を目指す、という考えのことで、17の目標があります。あらゆる組織だけでなく、私たち一人一人のSDGsへの参加が期待されています。



総合戦略とは？

人口減少問題に対応するための“戦略”です

総合計画とは別に、町では人口減少問題に特化した内容の「総合戦略」を平成27年度から実施しています（第1次総合戦略）。令和4年度～8年度の5年間では、「第2次総合戦略」として、なるべく多くの20～30歳代の方たちから、田上町に住んでもらえるような事業を中心に取り組んでいきます。

町がめざす将来の人口

若年層、特に20～30歳代の人口を減らさないように、転入と転出との差の改善に努めることで、このまま何もしないで推移した場合よりも2065年（令和47年）でおおよそ2,400人多い6,822人を食い止めることを目標とします。この推計で2030年（令和12年）時点では、約500人多い10,416人を目指します。

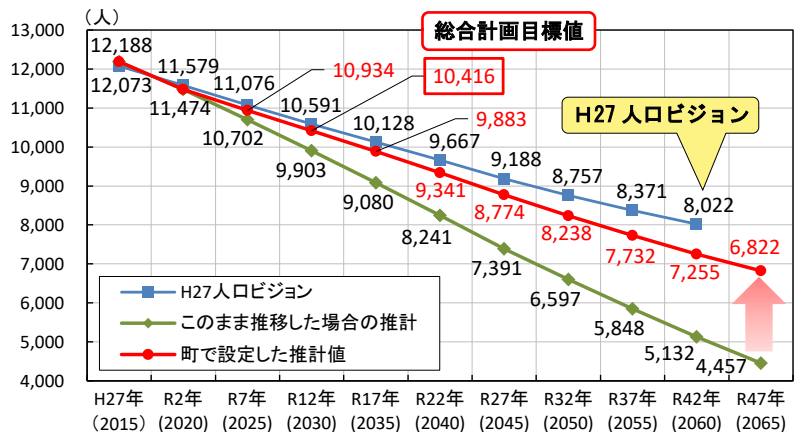


図 人口ビジョンによる町の人口推計

※H27人口ビジョン：H27に作成した、田上町の将来人口目標

第2次総合戦略で実施する事業

ずっと住み続けたいとおもうまち <転出の抑制・住みやすいまちづくり>

- 起業創業支援事業【新規・再掲】
- マイホーム取得支援補助金事業【新規】
田上町にマイホームを取得する方に補助金を交付します。「暮らし応援リフォーム補助金事業」と併用でき、最大40万円の補助が受け取れます。
- 暮らし応援リフォーム補助金事業【新規・再掲】

新しい人の流れがあるまち <転入促進・情報発信・にぎわい>

- 町の認知度を高める広報戦略【拡充】
SNSの利用や、町CMの制作など、様々な方法・手段で、田上町の認知度を向上させていきます。
- 転入者の促進（空き家・空き地の活用推進）【拡充】
転入を検討する方、また町内で新しく家や土地の取得を考える方により多くの情報を届けられるよう、空き家・空き地バンクの登録情報や件数を充実させます。
- 住宅地開発に向けた民間事業者への働きかけ【新規】
- 地域おこし協力隊の活用【新規】

子育ての希望がかなうまち <少子化の抑制>

- 新婚・子育て世帯向け個人住宅取得資金利子補給事業【継続】
- 不育症治療費助成事業【継続】
不育症で悩む方に、少しでも助けとなるよう、治療費の助成を行います。
- 乳幼児育児用品購入費助成事業【継続】
- 学校給食費補助金【継続】
多子世帯の給食費負担を軽減するため、補助金を交付します。
- 子育て応援カード【継続】

※掲載の事業は令和4年3月31日時点の情報です。

4つの重点プロジェクト

基本構想に掲げるまちの将来像を実現するため、前期基本計画の中でも特に重点的に取り組んでいく内容を4つの重点プロジェクトとしてまとめました。

●いつまでも安心して暮らせるまちプロジェクト

近年頻発する自然災害への対応や、健康寿命の延伸によって、誰もが安全安心で快適に暮らせるまちづくりを進めます。

| 施策 | 事業 |
|------------------|-----------------------------------|
| ①防災対策の充実 | ●防災関係機関の能力向上及び連携強化 |
| ②冬場の安心な生活環境の確保 | ●効率的な除雪体制の確保 ●除雪ボランティア組織形成の推進 |
| ③健康づくり環境の充実 | ●生活習慣病予防のための取組の推進 |
| ④いつまでも安心して暮らせる環境 | ●高齢者が活躍できる環境づくりの推進 ●新しい公共交通の運用 |
| ⑤快適な生活環境の確保 | ●清掃センターの改修・新築の検討 |

●安心して子育てできるまちプロジェクト

誰もが安心して子どもを育てることができ、また、子どもが健やかに育つようなまちづくりを進めます。

| 施策 | 事業 |
|--------------|------------------------------------|
| ①子育て支援・環境の充実 | ●子育て支援策の充実 ●既存施設を活用した子どもの遊び場の提供 |



●自然豊かで活力あるまちプロジェクト

町の豊かな自然を維持しつつ、道の駅「たがみ」を中心として、魅力とにぎわいのあるまちづくりを進めます。

| 施策 | 事業 |
|-------------------|-----------------------------|
| ①道の駅を中心としたにぎわいの振興 | ●道の駅から町内各商店や事業所・観光施設などへの誘導 |
| ②地域の雇用の創出 | ●本田上工業団地への企業誘致 ●起業支援金の創設 |
| ③田上町ブランド戦略 | ●田上町のブランド形成 |



●住んでみたい・住み続けたいまちプロジェクト

人口減少社会の中でも、誰もが住んでみたい、そして住み続けたいと思う持続性のあるまちづくりを進めます。

| 施策 | 事業 |
|------------------|-------------------------|
| ①人口減少への対応 | ●総合戦略の実施 |
| ②持続性のあるまちづくり | ●健全な財政運営 |
| ③新しい施設を活用したまちづくり | ●交流会館・地域学習センター・道の駅の有効活用 |

令和4年3月策定

発行：新潟県田上町 〒959-1503 新潟県南蒲原郡田上町大字原ヶ崎新田 3070 番地

電話：0256-57-6222 FAX：0256-57-3112 E-mail：t2223@town.tagami.lg.jp